

開講期	2026年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	4401 現代社会と心身問題A			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜2限				
教室	D110教室				
代表教員	制野 俊弘				
担当教員	制野 俊弘				
テーマと到達目標	この講義では現代日本が抱える心と身体に関わる問題（特に社会問題化しているもの）をいくつかの視点から取り上げ、その実態と解決策を探る。				
概要	以下の視点で現代社会の心身問題を取り上げる。①現代日本における労働と過労死（自死）の実態、②現代日本の学校におけるいじめとそれに関わる自死の実態、③震災下での生活の実態と心身に及ぼす影響。これらを概括するとともに、具体的な改善策について考える。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	オリエンテーション～現代社会における心身問題の概要～				対面授業
第2回	現代日本の労働問題①～日本の労働問題の系譜～				対面授業
第3回	現代日本の労働問題②～ブラック企業・ブラックバイトの実態～				対面授業
第4回	現代日本の労働問題③～国際社会と日本の労働実態の比較～				対面授業
第5回	現代日本の労働問題④～過労死・過労自死の実態～				対面授業
第6回	現代日本の労働問題⑤～過労死・過労自死を防ぐために～				対面授業
第7回	現代日本の学校におけるいじめ問題①～いじめ問題の歴史～				対面授業
第8回	現代日本の学校におけるいじめ問題②～いじめの実態～				対面授業
第9回	現代日本の学校におけるいじめ問題③～いじめ自殺の実態～				対面授業
第10回	現代日本の学校におけるいじめ問題④～いじめ対策の実情～				対面授業
第11回	震災が及ぼす心身問題①～被災者の心身はどうなっているか～				対面授業
第12回	震災が及ぼす心身問題②～被災者の生活実態～				対面授業
第13回	震災が及ぼす心身問題③～子どもたちの心身に与える影響～				対面授業
第14回	震災が及ぼす心身問題④～教育でのチャレンジ～				対面授業
第15回	現代社会と心身問題に関する概括とレポート作成				対面授業
成績評価の基準	毎時提出するミニレポート（80点）と最終提出レポート（20点）によって評価。				
履修にあたっての留意事項	毎回の出席とミニレポートを重視します。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特になし。		
教科書	制野俊弘「命と向きあう教室」ポプラ社 2016年	教科書(ISBN)	
参考文献	川人博「過労自殺第二版」岩波新書, 教育科学研究会編「いじめと向きあう」	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	<p>本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること</p>
--------------------	---